

# 校長室から ひがしなら通心

2019 (H31) 年度 茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 2

平成31年4月9日 (火) 発行

## 東奈良小の「あ・い・う・え・お」

入学式で1年生に、東奈良小の「あ・い・う・え・お」の話をしました。

### 「あ」は、「あいさつができる子」になろう！

・毎日、明るく、元気な声で、あいさつをしましょう。

あいさつは、人と人との仲良くなるための第一歩です。家族や先生、友だち、地域の方にもあいさつをしましょう。「おはようございます」「さようなら」人に親切にされたら「ありがとうございます」人に迷惑をかけたら「ごめんなさい」と言うことが大切です。

### 「い」は、「いっしょうけんめい勉強する子」になろう！

・勉強（学ぶこと）が好きな子になりましょう。

授業中は先生のお話をよく聞き、一生懸命（いっしょうけんめい）頑張りましょう。家に帰ってもその日の復習を必ずして、学力をつけましょう。

### 「う」は、「うんどうが好きな子」になろう！

・元気に外で遊ぶ子になってほしいです。

体育の授業や運動が大好きになり、天気の良い日は休み時間にたくさん外で遊びましょう。お日様の光をいっぱい浴びると体が丈夫になります。外で遊ぶとお友だちもいっぱいできます。遊びにはルールがあって、知らず知らずのうちに、ルールを守れる良い子になれる。いいことがいっぱいありますよ。

### 「え」は、「えがおでやさしい子」

・いつも笑顔で、人に優しい子になりましょう。

友だちが悲しいと思うようなことをしたり、「チクチク言葉」を言ったりしないで、人には優しく心が温かくなるような「フワフワ言葉」を使って仲良く

生活し、「たのしい」学校にしましょう。

### 「お」は、「おそうじをがんばる子」

・おそうじを嫌がらずに取り組みましょう。

教室や廊下、自分の担当するそうじ場所をピカピカにしましょう。とても気持ちのいいものです。そうすると、心もピカピカになります。

本校のめざす子ども像は、

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ・明るく 強い子ども     | ・よく考え 努力する子ども |
| ・やさしく 礼儀正しい子ども | ・地域を 愛する子ども   |

ですが、この「あいさつ・いっしょうけんめい・うんどう・えがお・おそうじ」を合言葉に、子どもたちと共に努力していきたいと考えています。

進級した今の時期は、いろいろな意味で成長するよいチャンスです。人に必要とされる役割があることで子どもたちは成長します。張り切っている今の気持ちを大切に、ちょっとむずかしいことにもチャレンジしながら、これまでより少し成長した新しい自分を創ってほしいです。

## 大きな夢や希望よりも大事なこと

大きな夢や希望を持つことは大切ですが、そのためには、日頃から夢や希望に向かって努力することが大切だと思います。「努力」という言葉を辞書で引いてみると、「ある目的のために力を尽くして励むこと」とあります。

日本プロ野球選手として初めて国民栄誉賞を受賞した王貞治さんは、「努力が報われないことなどあるだろうか。報われない努力があるとすれば、それはまだ努力とは呼べない」と言っておられます。

また、メジャーリーグで活躍し、つい最近引退したイチロー選手は、「努力せずに何かができるようになる人のことを天才というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを天才というのなら、僕はそうだと思う」と努力の大切さを語っておられます。

また、松下電器（現パナソニック）の創設者である松下幸之助さんは、「平凡なこと、些細なこと、それを積み重ねて、そのうえに自分の知恵と経験を加えていく、それではじめて、成功をすることができる。成功は小さい努力の積み重ねやね」と言っておられます。

夢をつかむためには、簡単なことや平凡と思われるようなことをしっかりとやり遂げ、おろそかにしないということが大切であり、そのようなことの積み重ねが努力であるということだと思います。

みなさんも努力を積み重ね、大きな夢や希望をつかみとってください。